

めあて ○ 主語・述語を正しく見つけられるようになろう。

○ 文の中の主語と述語の関係を理解しよう。(めあては3回読みます!)

1 「二つの文に、一組の主語と述語がある」ってどういうこと?例をあげてまとめ、家族に説明しよう。

主語(らほ) 述語(した)
ほくは昨日庭に木を植えた。のように、「らほ」という主語と「した」という述語の関係が一組あるということ。

ちよと難しいけど教科書も参考にしてながら自分の言葉でまとめよう。

2 「二つの文に、二組の主語と述語がある」ってどういうこと?例をあげてまとめ、家族に説明しよう。

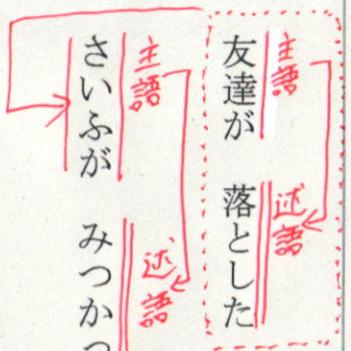
① 枝がのび葉がしげる。ヤ ② ほくが植えた木が育った。のように、主語と述語の関係が一つの文の中に二組あるということ。



3 次の文の主語と述語の関係について、教科書P65を参考に書きこみ、どのような関係か家族に説明しよう。

主語と述語の関係を考えるってどういうこと?次に3つを考えることです!

- ・ 主語と述語はどれか?
- ・ 文の中心となる主語、述語はどれか?
- ・ 文の中心となっていない主語・述語は何を修飾(くわしく)しているのか?



「友達がー落とした」と「さいふがーみつかった」という二組の主語と述語の関係があるが、この文で中心となるのは、「さいふがーみつかった」。友達がー落とした」は、この文の中心の主語である「さいふが」を修飾する言葉。



4

ことばのきまり⑧を参考に、③の文を二つの文に分解してみよう。

○友達がいふを落とした。
○そのいふは見つかった。

5

教科書 P65 の下の問題にチャレンジしよう！

1

次の文の主語と述語の関係をみつけよう。

券売機が故障したうえに、電車がおくれた。
 主語 述語 主語 述語

立派な警察署が完成し、住民は喜んだ。
 主語 述語 主語 述語

2

次の文を二つの文に分けて書き直し、同じ内容を表してみよう。

祖父が通う銭湯が県庁の近くに移転した。
 主語 述語 主語 述語

↑ 主語となるのは「銭湯が」移転した「だね」。
 「祖父が通う」は主語の「銭湯が」を修飾しているね。

※以外に主語が分かれるものもあるね。

姉がくれたカップはとてもかわいい。

(例) 姉がカップをくれた。
 主語 述語

そのカップはとてもかわいい。
 主語 述語

有名な作家が訳した外国の童話を読んだ山田さんが感想を述べる。

(例) 有名な作家が外国の童話を訳した。
 主語 述語

その童話を読んだ山田さんが感想を述べる。
 主語 述語

6

ことばのきまり⑧にチャレンジ！

8

文の組み立て

めあて

○主語・述語を正しく見つけられるようになりましょう。
○文中の主語と述語の関係を理解しましょう。

点

主語と述語の関係

1 おぼえましょう

◇ 文には、「だれ(何)が」「だれ(何)は」を表す主語、「どうする」「どんなだ」「なんだ」を表す述語がふくまれています。

1 一つの文に、一組の主語と述語がある場合

主語 アサガオは、
述語 きれいだ。
主語 ヒマワリは、
述語 きれいだ。



2 一つの文に、二組以上の主語と述語がある場合 ①

主語 アサガオは、きれいだし、
主語 ヒマワリも、きれいだ。
述語

※右の文は、「アサガオは、きれいだ。」「ヒマワリも、きれいだ。」と、単純に二つの文に分解できます。また、「……ヒマワリも、きれいだし、アジサイも、きれいだし、……」とつなげれば、何組もの主語と述語の関係が成り立ちます。

3 一つの文に、二組以上の主語と述語がある場合 ②

〈修飾する主語と述語〉
主語 私
述語 が 育てた



主語 アサガオは、
述語 きれいだ。
〈文の中心になる主語と述語〉

※右の文は、2の文とはちがって、「アサガオは、きれいだ」が文の中心です。「私が、育てた」という一組の主語と述語は、「アサガオは」を修飾しています。

4 3の文は、次のように書きなおすことで、二つの文に分解することができます。

私が、アサガオを育てた。
そのアサガオは、きれいだ。



2 練習しましょう

1 次の文の主語に―を、述語に―を引きましょう。

- ① まぶしい夏の太陽が、じりじりと照りつける。
- ② 私たちのグループは、調べたことを報告する。
- ③ この池では、あまり魚がつかれない。

2 次の二つの文を一つの文にして、()に書きましょう。

- ① 森は静かだ。湖はおだやかだ。

森は静かだし、湖はおだやかだ。

- ② ぼくは本を読んだ。ぼくは感想文を書いた。

ぼくは本を読んで、感想文を書いた。

※①・②とも、主語と述語の順序が同じで、自然につながっていればOです。

はりがねにちがひ

3 次の文の中心になる部分の主語に、―を引きましょう。

- ① 私が飼っている犬は、とてもおすわりが上手だ。



② 友達が落としたさいふが、交番にとどけられている。
たしか①「犬は上手だ。」②「さいふがとどけられている。」が、めよう中心になる部分です。

4 次の文を4のように二つの文に分解して、()に書きましょう。

- ① ぼくが小さいころにかいた絵が、部屋のかべにかざられている。
- ② ぼくが小さいころに絵をかいた。
- ③ その絵が部屋のかべにかざられている。

- ④ 先生が教えてくれた歴史の資料が、図書館で見つかった。
- ⑤ 先生が歴史の資料を教えてくださいました。

その資料が、図書館で見つかった。

※①・②とも、細かい部分の言い方がちがっていても、主語と述語の順序が同じで、自然につながっていればOです。